平成20年10月15日

各　　位

会 社 名　アイエックス・ナレッジ株式会社
代表者名　代表取締役社長　安　藤　文　男
（ＪＡＳＤＡＱ・コード番号９７５３）
問合せ先　広報・ＩＲ部長　荒　木　　厚
電話　０３－６４００－７０００

業績予想の修正及び特別損失の発生に関するお知らせ

当社企業グループ業績動向を踏まえ、平成20年５月14日に発表した平成21年３月期（平成20年４月１日～平成21年３月31日）第２四半期累計期間及び通期の業績予想（連結・単独）を下記のとおり修正いたします。またこの中で、当該第２四半期累計期間の単独決算において特別損失が発生いたしましたので併せてお知らせします。

記

１．業績予想の修正

（１）平成21年３月期第２四半期累計期間（平成20年４月１日～平成20年９月30日）業績予想の修正

【連　結】　（単位：百万円）

	売　上　高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益
前　回　予　想（A）	8,986	239	255	134
今 回 修 正 予 想（B）	8,598	△107	△69	△125
増　減　額（B－A）	△387	△346	△325	△259
増　減　率	△4.3%	－	－	－
＜ご参考＞				
前年同期実績（19/4～19/9）	8,986	390	417	243

【単　独】　（単位：百万円）

	売　上　高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益
前　回　予　想（A）	7,526	279	289	160
今 回 修 正 予 想（B）	7,390	212	236	69
増　減　額（B－A）	△136	△67	△52	△90
増　減　率	△1.8%	△24.1%	△18.0%	△56.7%
＜ご参考＞				
前年同期実績（19/4～19/9）	7,711	412	423	246

（２）平成21年３月期通期（平成20年４月１日～平成21年３月31日）業績予想の修正

【連　結】　（単位：百万円）

	売　上　高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益
前　回　予　想（A）	19,577	1,095	1,121	602
今 回 修 正 予 想（B）	18,633	604	650	305
増　減　額（B－A）	△943	△490	△470	△296
増　減　率	△4.8%	△44.8%	△42.0%	△49.2%
＜ご参考＞				
前年同期実績（19/4～20/3）	18,619	942	978	575

【単　独】　（単位：百万円）

	売　上　高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益
前　回　予　想（A）	16,177	926	941	529
今 回 修 正 予 想（B）	15,822	774	793	350
増　減　額（B－A）	△354	△152	△147	△179
増　減　率	△2.2%	△16.4%	△15.7%	△33.9%
＜ご参考＞				
前年同期実績（19/4～20/3）	15,705	850	856	504

２．修正理由

（１）第２四半期累計期間の業績について

当第２四半期累計期間においては、サブプライムローン問題に端を発した世界的な金融の混乱や原油・原材料の高騰を受け、国内でも金融界を中心に景気減速感が進み、情報サービス市場の顧客は価格面を含め極めて慎重な投資姿勢で推移しました。これに対し当社グループは、新規案件の獲得と原価低減、業務プロセス管理の強化に努めましたが、受注環境は厳しく、連結子会社において情報・通信及び金融・証券分野の一部システム開発業務で予定を上回る原価発生により採算が悪化し､連結決算では利益面で当初計画を大幅に下回り損失を計上する結果となりました。

また、単独決算につきましては売上高はほぼ当初計画を達成したものの、営業利益、経常利益は計画を若干下回ったほか、下記特別損失の発生に伴い当期純利益は計画を大幅に下回ることとなりました。

（２）通期の業績について

通期業績におきましては、当第２四半期累計期間の業績予想修正要素に加え、第３四半期以降において景気の一段の減速を受けて金融関係を中心にＩＴ投資に対する姿勢が更に慎重になることが予想されます。すでに、予定しておりました一部案件の受注が延期となるほか、新規案件において価格面等の厳しい条件が提示されるケースも出始めていることから、業績見通しをより厳しく見積もることといたしました。これにともない通期の連結決算につきましては、売上面で当初計画を若干下回るほか利益面では大幅な減少を見込んでおります。

また、単独決算におきましては、売上高は当初計画比微減の見込みでありますが、第３四半期以降において利益率の急激な改善は見込みにくく営業利益、経常利益は当初計画に対し若干の減少となる見込みであり、当期純利益においては大幅な減少となる見込みであります。

なお、当期の当社期末配当につきましては本年５月14日付決算短信に記載したとおり１株当たり年間10円とする予定に変更ありません。

３．特別損失の発生について

当第２四半期累計期間では、当社連結子会社において上記のとおり一部不採算案件の発生から当期間の純損失を計上いたしました。これに伴い当社は、当該子会社の財務内容悪化を受け当第２四半期累計期間の単体決算において当該子会社に関する投資評価引当金繰入額100百万円を特別損失として計上いたします。

（注）上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は、経済情勢の変化等の不確定要因により、記載の数値と異なる可能性がありますことをご承知おきください。

以　上